



久米島町移住定住相談窓口 「島ぐらしコンシェルジュ」 令和6年度 活動報告

令和7年2月23日

目次

- ◆ スタッフ紹介
- ◆ 活動の目的と経緯
- ◆ 島ぐらしコンシェルジュとは
- ◆ 活動内容
- ◆ 活動実績
- ◆ 今後の課題

久米島町 移住・定住に関わる スタッフ紹介



《島ぐらしコンシェルジュ：地域おこし協力隊》

原 久美子：千葉県出身（移住 5 年目）

森田 純：東京都出身（移住 1 年目）

《空き家・空き地活用相談員：集落支援員》

矢島 守人：兵庫県出身（移住 6 年目）

《担当部署：久米島町企画財政課》

長濱 光秀：久米島出身

金城 嶺賀：久米島出身





名前：森田 純

出身：東京都

移住：1年目

字：儀間

久米島の好きな場所：
球美の島緑化公園からの
「儀間・嘉手苅」の眺め



名前：原 久美子

出身：千葉県

移住：5年目

字：比嘉

久米島の好きな場所：
登武那覇園地頂上からの
「比嘉・イーフ」「奥武」の眺め

活動の目的と経緯

第2次久米島町総合計画 施策44 移住定住促進体制の充実

島に人を惹き付ける

「旅したい」「移住したい」「帰ってきたい」人のために

施策40 久米島らしいライフスタイル・ブランドの確立

施策41 情報発信力の強化

施策42 交流文化の推進

施策43 観光の振興

施策44 移住定住促進体制の充実



+ 以前の問題

相談窓口が点在（たらい回し）による移住の“挫折”
勢い、無計画による移住の“失敗”



総合窓口「島ぐらしコンシェルジュ」
平成28年5月スタート

島ぐらしコンシェルジュは



「地域おこし協力隊」が担当

地域おこし協力隊とは、過疎や高齢化の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、地域での生活や地域社会貢献に意欲のある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした総務省の制度（ウィキペディアより）

久米島町の移住・定住に関する相談の総合窓口



令和6年度現在、島コン卒業生7名中
4名が現在も久米島町に定住

活動内容



(1) 情報発信

- a. 専用ホームページ・SNS・メルマガ
- b. 冊子：移住ガイドブック・島ぐらしの便利帳
- c. FMくめじま
- d. 定期記事：WEBマガジン・おかえり久米島・久米島ファンクラブ

(2) 移住相談

- a. 移住相談：メール・電話・オンライン・来館
- b. 移住イベントへの参加・開催

(3) 移住体験

- a. オーダーメイド型移住体験サポート
- b. オンライン移住体験ツアー
- c. 沖縄県ふるさとワーキングホリデー
- d. 職場見学バスツアー



(1) 情報発信



a. 久米島移住専用ホームページ

「久米島 島ぐらしガイド」

“くらし”・“住まい”・“しごと”の情報を中心に発信。
求人情報ページは島内外の両方の方が活用。
(求人掲載件数：**71件**)

近年海外からの
閲覧・問合せもあり



SNS

Facebook

フォロワー**1,720**



Instagram

フォロワー**1,328**



X(旧Twitter)

フォロワー**489**



(令和7年2月18日現在)

メルマガ

移住希望会員のメルマガ希望者へ月1回程度配信。
(メルマガ配信件数：**656件** 令和7年1月10日配信)。



(1) 情報発信

b. 冊子

「おきなわの離島 久米島移住ガイドブック 久米島でくらす」

移住イベントで配布したり、北海道・東京・名古屋・大阪の主要都市部の移住支援団体、沖縄アンテナショップ、島内などに設置。

「久米島 島ぐらしGUIDE 島ぐらしの便利帳」

主に転入者向け。島民の方も利用できる便利帳。



c. FMくめじま ラジオ番組

島コンの活動報告や移住イベント情報、移住者の島ぐらしなどを放送。移住者のゲスト出演もあり。

島コンラジオ「久米島人口減ってるってよ～」

毎月第1・3水曜日 12:00～12:30



(1) 情報発信

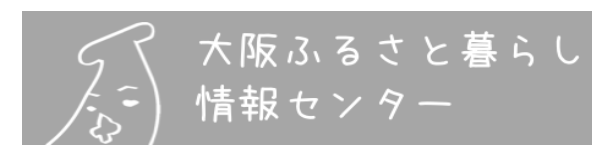


d. 定期記事

認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター
WEBマガジン「FURUSATO」(月1回)



大阪ふるさと暮らし情報センター
WEBマガジン「現地イベントに行く」(月1回)



一般社団法人 久米島町観光協会
季刊誌「おかえり久米島」
～島ぐらし通信～ (年3～4回)

久米島ファンクラブ
季刊誌「久米島ファンクラブ」
～島コンたいむす～ (年3～4回)



(2) 移住相談



a. 移住相談：メール・電話・オンライン・来館

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (1月末現在)
メール相談フォーム	49	41	38	27	33
不動産アンケート	74	56	32	31	32
移住希望メルマガ会員登録 (※)	67	82	158	177	174
Google問合せフォーム	4	9	5	3	4
SNS相談	8	8	11	17	14
電話・オンライン相談	37	38	30	18	22
来館相談	15	23	25	32	23
計	249	257	299	305	302

(※) 移住希望メルマガ会員登録には、移住相談会参加者分も含まれます
(相談会参加者情報を入力しているため、また参加者全員に参加御礼及び移住情報メールを送付しています)
移住希望メルマガ会員登録数：1,234件（令和7年2月18日現在）

(2) 移住相談

b. 移住イベントへの参加・開催

移住支援団体や沖縄県などが主催する移住相談会や移住フェアへ参加。
また年1回程度久米島町独自の出張移住相談会も開催。

会場	令和5年度 開催数 (回)	令和5年度 相談件数 (件)	令和6年度 開催件数(回)	令和6年度 相談件数(件)
東京	7	83 (108)	10	105 (151)
大阪	3	41 (55)	2	24 (33)
名古屋	1	6 (14)	1	14 (19)
久米島	2	10 (10)	5	34 (34)
オンライン	3	15 (16)	5	※166 (166)
合計	16	155 (203)	23	343 (403)

※今年度より県が主催したYouTubeLIVE視聴者含む。()内の数字は相談人数



(3) 移住体験



a. 久米島オーダーメイド型移住体験サポート

移住希望者さんの希望に合わせたオーダーメイドの島内アテンド。

ex.

- ・ 同世代の先輩移住者さんに会ってみたい
- ・ 起業した方の話を聞きたい
- ・ 物件を見たい
- ・ 職場見学をしたい
- ・ 学校や学童を見学したい
- ・ 生活施設をみてみたいなど

令和4年7月よりスタート

これまで**29組41名**参加

→**9組12名**が移住(令和7年1月現在)



b. 久米島オンライン移住体験ツアー

県の事業で開催するオンライン移住体験ツアー。
久米島に来たことがない方、離島移住に不安を持っている方向けのツアー。

《開催日》

2025年2月16日(日)

※**申込み23組、参加17組**



(3) 移住体験

今年度
スタート！



c. 沖縄県ふるさとワーキングホリデー

沖縄県内の事業者と県外の参加希望者が雇用契約を結び一定期間(15日～30日程度)、仕事をしながら沖縄の自然や文化に触れ、交流や暮らしを体験してもらう取り組み。

※[宿泊費・島内の移動手段の補助あり](#)

《久米島町参加事業者》

- ・久米島製糖株式会社（製糖工場）
- ・久米総合開発株式会社（車海老養殖場・レンタカー）
- ・EN RESORT Kumejima（ホテル）
- ・旅の宿 なんくるないさあ（宿泊施設）（令和7年1月現在）

d. 観光人材マッチング支援事業「職場見学バスツアー」他

沖縄県内の観光業界へ就職を希望する方を対象に、求人事業者とのマッチングを行い、職場訓練及び職場見学を実施。

※[渡航費・宿泊費の助成あり](#)

《開催日》

2024年11月15日(金)～17日(日) 2泊3日

※**6名参加2名移住**予定（応募者多数(**33名**)で途中募集締切)



活動実績



年間相談件数は近年**300名以上！！**

a. 移住者数

島ぐらしコンシェルジュが関わった移住検討者のうち、
年間**約30名**が久米島へ移住



※2024年度実績には**3月までの移住予定者(25名)**が含まれます。(令和7年2月現在)

活動実績



島コンが関わった9年間の移住実績 **253名**

b. 定住率

この9年間で転出した人数 **46名**、定住率 **81.8%**

(令和7年1月末現在)

◆ 主な 移住理由

「自然が豊か」「久米島が好き」
「発展し過ぎていなく、不便過ぎないところ」
「のびのびした環境で子育てしたい」…

◆ 主な 転出理由

「新しいことにチャレンジしたい」
「(家族が増えたが)給与が少ない」
「教育・習い事の選択肢が少ない」
「島の病院では治療が難しい」「人間関係」…

活動実績



C. 効果のある活動

◆相談会（リアル・オンライン）

相談会 → 「久米島」を知ってもらう → 参加御礼メール送信
→ (興味を持った人は) 返信や**来島** → (更に興味を持った人は)
来島相談や**移住体験ツアー**に参加 → (複数名が)**移住**

◆相談会に事業者が参加

- ① 島ぐらしコンシェルジュと**一緒**に相談会に参加
- ② 事業所から**直接**仕事内容や条件の説明
- ③ 移住の準備は島コンと事業所の**双方**でサポート
→ 事業所の熱意、働く仲間が見えることで**移住**

※ **3組5名**が**移住**、
3名が**事業所に就職**

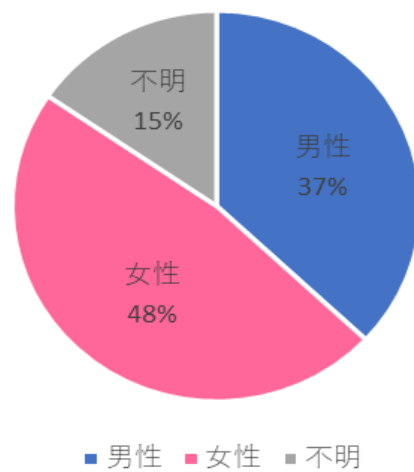


活動実績

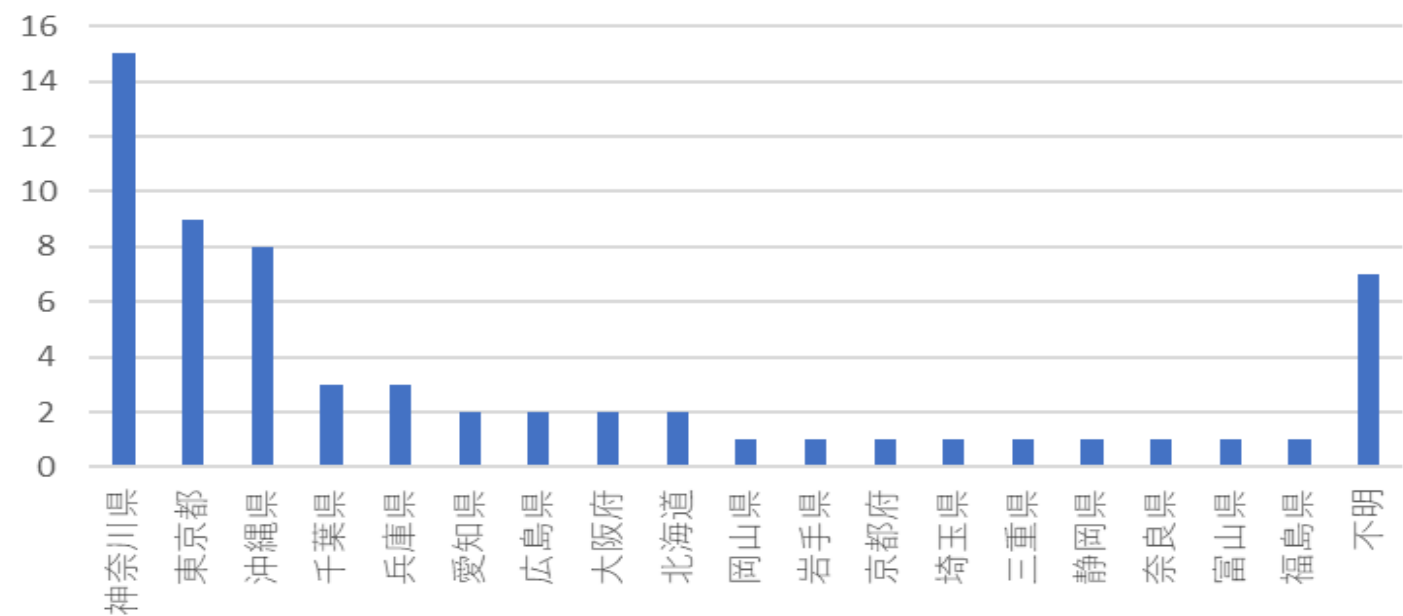
d.補足資料



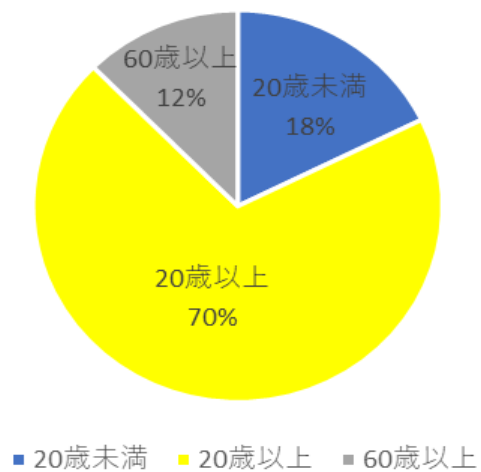
男女比



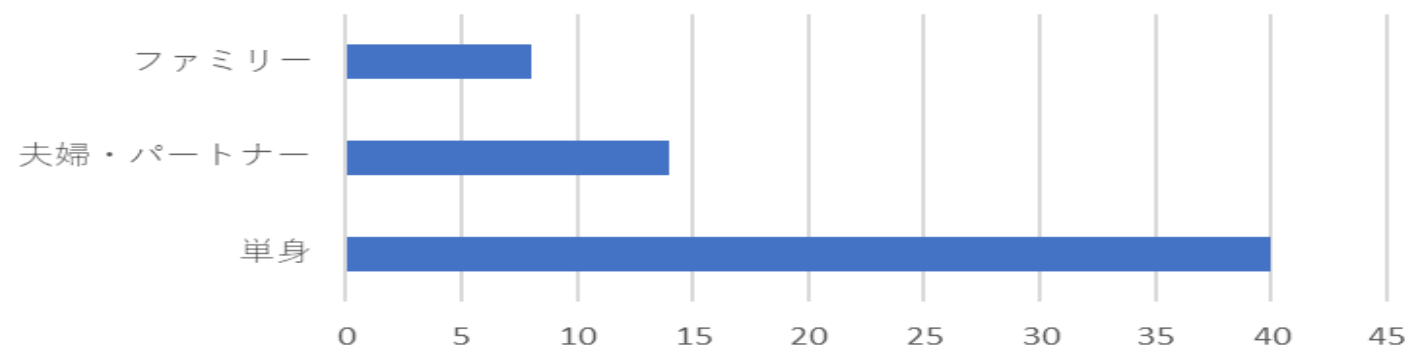
移住前住所



年代別



世帯別



※「男女比」「年代別」は2016年度～2023年度
※「移住前住所」「世帯別」は2022年度～2023年度

移住・定住の課題

◆ 住まい不足

- 移住希望者数に対して住まい不足の解消
- ペット可の物件相談や二拠点居住検討者の増加への対応
- ⇒ 空き家や古いアパートの活用
- ⇒ 移住体験住宅・移住促進住宅の要検討など

◆ 人手不足

- 若い移住者・現役世代の誘致
- ⇒ 給与面・待遇面の不安の解消など

◆ 3～5年の壁(転出)

- 現役世代、子育て世代の転出の抑止
- ⇒ 正しい転出理由の調査、対応策の検討

◆ Uターン・孫ターンの強化

- 子どもの頃の経験→Uターン
- 子どもの頃の体験→孫ターン
- ⇒ Uターン・孫ターンのための施策作り



来年度やりたいこと

◆ 『地域』と繋がりたい！

- 区長会に参加
 - 字の訪問
 - 地域の住まい、移住者に関するヒアリング
- ⇒ **住まい・転出対策**へ繋げる！

◆ 『地域』の魅力を発信したい！

- 他地域・他業種と交流し久米島の魅力を再認識し発信する
(県外離島との合同オンライン移住セミナーなど)
- ⇒ **人手不足・Uターン対策**へ繋げる！

◆ 『地域』と繋がる移住ツアー企画をしたい！

- 地域行事参加型移住体験ツアー
(ハーリー、スーンジ、祭りの準備、模合、ビーチクリーンなど)
- ⇒ **人手不足対策(若者の誘致)**へ繋げる！



来年度もご指導ご鞭撻のほど
よろしくお願いいたします